



国際会長 (IP) A. Shanavaskhan (India)

Together for a Better World

「より良い世界のために、共に」

アジア太平洋地域会長 (AP) ジョウン・ウォン (香港)

“Make a Great Impact”

「大きなインパクトを起こそう」

東日本区理事 (RD) 山田 公平 (宇都宮)

“Our Future Direction”

「ワイズの方向性を見極める」

湘南・沖縄部部長 (DG) 久保勝昭 (横浜つるみ)

「共に支え合い〜共に喜びを」

横浜クラブ会長 (CP) 古田 和彦

「楽しんで、できる範囲で、YMCA と地域に伝えよう (パートII)」

会長 古田 和彦

副会長 秋元 美晴

書記 古賀 健一郎

会計 大高 治

直前会長 古賀 健一郎

監事 松島 美一

ブリテン 秋元 美晴

担当主事 立花 明美

<今月の聖句>

古田 和彦

実に、キリストはわたしたちの平和であります。二つのものを一つにし、御自分の肉において敵意という隔ての壁を取り壊し、規則と戒律づくめの律法を廃棄されました。

(エフェソの信徒への手紙 2 章 14-15 節)

わかります。私自身が関連したイベントを3つ挙げてみましょう。まず、恵泉女学園大学のサマープログラムです。7月31日〜8月12日まで、主に中国、韓国、台湾、タイなどの協定校から参加した短期留学生が、日本語や日本文化を学ぶ夏季語学研修プログラムです。2週間にわたる全日程に恵泉のボランティア学生が参加し、主に日本語授業のサポートや大学内で行われる縁日などを一緒に楽しむ他に例のないプログラムです。2024年度で13回目を迎えますが、今年はイスラエルの大学から6名の留学生も加わり、留学生38名と引率教員が4名と大きなものとなりました。8月3日はエクスカージョンでみなさんと小田原城、大涌谷へ行きました。

2つ目のイベントは、数年前から関係している多摩市国際交流センターの主催の World Campus in Tama です。8月5日〜8月11日まで開催されました。2024年度は世界8カ国からの若者18名が多摩に集まり、ホームステイ、市民との交流、学校、企業訪問等を行う多摩市の一大国際イベントです。多くの多摩市民がボランティアとして参加しました。私は挨拶をしたり、若者たちと歌を歌ったり、ダンスをしたり、英語の紙芝居を見たり、とても楽しかったです。ただ、恵泉のサマープログラムと日程が重なっていたため、多摩センターにある大学に行ったり、多摩市国際交流センターのある聖跡桜が丘に行ったり、うろろろしていたので、とても疲れました。この2つの国際イベントは若さに圧倒されながらも、どうにか無事に終えることができました。

ところで、この夏一番楽しく頑張った3つ目のイベントは、8月22日に行われた厚木クラブ、横浜つるみクラブ、

今月のひとこと

さまざまなイベント

秋元 美晴

今年の夏は本当に暑い。もう9月に入りましたが、まだ、暑いです。しかし、世の中はいくら暑くても、ここ数年コロナで我慢させられていた分を取り戻そうと、大小さまざまなイベントがあちこちで行われるようになったと感じます。

私も7月、8月のカレンダーを見ると、ご多分に漏れず、暑い、暑いと言いながら、あちこちに出かけていき、外出しているときのほうが家にいるときよりずっと多かったことが



横浜クラブの3クラブ合同納涼例会（詳細は「第一例会報告」をご覧ください）です。私は余興で、「恋の季節」を歌うことになりました。人前で歌を歌うのは、小学校の学芸会以来です。久保部長のお取り計らいで、鶴見での歌のリハーサルにも参加させていただきました。家でも振りをつけて、練習に励み、当日に臨みました。会場では、久保さんのギター、富山さんのフルート、向井さんのピアノと豪華な伴奏のもと、歌のお上手な村中さんと「恋の季節」を歌いました。興奮冷めやらず、帰宅して夫に振り付きで、「恋の季節」を披露しましたが、それはそれは迷惑そうでした。

かくして2024年の8月は終わりました。充実したイベントを3つも体験することができた素晴らしい、暑い暑い夏でした。

<2024年8月例会実績>

在籍者	出席者	出席率	B F
14名	メ 10名 メネット 1名 コメント 0名 ビジター 21名 ゲスト 7名 合計 39名	71.4% (メーキャップなし) 前月修正出席率 %	今月分 切手 0g 現金 0円 年度累計 切手 0g 現金 0円

<9月の行事予定>

EF/JEF

日	曜	時間	行事内容	場所
3	火	19:00	第103回Y-Ys協議会	中央Y, Zoom
12	火	18:30	横浜クラブ第一例会	中央Y, Zoom
14	土	18:00	Yサービスクリエイティブクラブ設立総会	大和商工会議所会議室
23	月	16:30	横浜YMCA フェスタ	とつかY
26	木	17:00	横浜クラブ第二例会	Zoom

第一例会報告

—3クラブ合同納涼例会報告—

大高 治

日時:8月22日(木) 18:00~20:30

場所:カフェ ドゥ ラ プレス

出席者:①厚木クラブ4名(井筒、川口、佐藤、徳沢)②横浜つるみクラブ4名(久保、久米、中村、渡邊)③横浜クラブ11名(秋元、大高、押川、Klotka Mark、古賀、

斎藤、佐竹、田口、立花、古田メン、古田メネ)

・ビジター13名;東京多摩スマイルクラブ(1名)、鎌倉クラブ(4名)、金沢八景クラブ(6名)、横浜つづきクラブ(2名)

・ゲスト7名:富山姫路子(フルート演奏者)、横浜つるみクラブ紹介(向井多恵子、村中孝子)、横浜クラブ紹介(トン・ユウシャン、高寺幸江、土居孝夫、土居江里子)

厚木クラブの佐藤ワイズの司会で開始され、見事な司会振りを見せて頂きました。1,古田会長による開会点鐘および挨拶、2,全員でのワイズソングとワイズの信条、3,押川ワイズによる今月の聖句、続く4,食前感謝、5,参加者中最高齢の横浜つづきクラブの鈴木ワイズによる乾杯の後、6,食事・歓談へと進みました。

参加者総数39名のワイズ及びゲストに出席した頂き、談笑と音楽が続く賑やかで盛り上がった会になりました。2018年までは桜木町駅近くの“厩の食卓”で、ウクレレとフラダンスチームが華やいだ雰囲気をつくり出し、それからコロナに耐え、昨年4年振りにしっかりと、ロイヤルホール横浜での開催となり、フルート演奏で優雅な雰囲気が醸し出されました。

本年はピアノ:向井多恵子様、フルート:富山姫路様、ギター:久保ワイズのトリオによる7,「うたごえ広場」が設けられ、青葉城恋歌、恋の季節、旅人よ、憧れのハワイ航路、テネシーワルツ、幸せはここに、アロハオエと懐かしい唄の数々、「歌は世につれ世は歌につれ」でなくとも、好い唄は好いのです。「恋の季節」ではつるみクラブ紹介のゲスト、村中さんと横浜クラブの秋元ワイズが美声を披露された。前日鶴見まで遠征しての稽古、その熱心さに感動です。



乾杯の音頭:鈴木ワイズ(中央)



ゲストの富山さんと久保ワイズ

★ 強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う ★



ゲストの向井さん（ピアノ）と村中さん、秋元ワイズ

8, 報告・連絡タイムでは、次のアピールがありました。

- ① 新クラブ「大和クリエイティブYサービス（仮称）」の設立総会、9月14日（土）の紹介
- ② 厚木クラブ；12月に開催予定の20周年記念パーティーのお知らせ
- ③ つづきクラブ；恒例のYou&Iコンサート、9月28日（土）
- ④ 横浜クラブ；8月30日の留学生による日本語スピーチコンテスト、9月23日（月）の横浜YMCAフェスター会員の集いの紹介
- ⑤ 横浜YMCA；ミャンマーの市民と共に「希望の光に向かって」のチャリティーコンサート11月26日の紹介
- ⑥ 金沢八景クラブ；台湾からの留学生のおもてなしから台湾との交流が増々進展していること、黒川前部長からは、「他のクラブとの交流の大切さ」が述べられました。他のクラブとの交流の大切さは、乾杯の発声の前に鈴木ワイズからも述べられ、横浜クラブの古田会長からも「楽しく、皆さんと共に喜びあえる会」にしようとの昨年からの腐心が、つづきクラブとの5月の「富士山を巡る合同例会」に繋がったことが述べられ、参加者皆さまのご協力で、今年もその意図するところが達成されたように思います。司会の佐藤ワイズは時々会場を廻り、ゲストの席にも立ち寄られた心使いに感謝です。また8月誕生月の3名には祝いの品が贈られました。

さて、横浜クラブがお招きしたゲスト、如何なる感想を持って頂いたであろうか。

- トン・ユウシャン（童裕祥）さんはYMCAで学ぶ中国から留学生、昨年へ続く参加です。
- 高寺さん；中国からの留学生、童さんと話が出来た喜びを「中国の事情も聴けました。息子がいない私にとって、とても嬉しい時間でした」教育実習が終了した彼女は、チューターに興味を持っています。
- 土居ご夫妻；海外生活の経験があるお二人は、昨年入会の「Klotkaさんと知り合いになれ、また会えそうです。輝かしい経歴の方々にお会い出来、パワーを頂いた思いです。お招き頂き有難う御座いました」と。

9, 閉会点鐘は金沢八景クラブの高橋ワイズによってなされました。



横浜クラブのゲストとKlotkaワイズ



横浜クラブ中心



厚木クラブ



鶴見クラブと今城ワイズ



金沢八景クラブ

★ 強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う ★



横浜つづきクラブと伊藤、田口ワイズ



鎌倉クラブ

近況

マーク クロトカ

今日は教会で祈りを捧げながら、周りを見渡して考えました。日本？なぜ日本？

どうして私は故郷から1万キロ以上も離れた場所で教会で祈っているのか？周りの人は誰も私のように見えません。彼らが祈る言葉さえ理解できません。

なぜ？ どうして？

皮肉なことに、今日の福音書はマルコ6:30-34であり、私の感覚を啓発しました。日常生活、文化、人種が異なるとしても…「私たちが結びつけるもの」に焦点を当てるべきであり、「なぜ私たちが異なるのか」ではありません。

今日の読み物で、イエスは「羊飼いのいない羊のような私たち」について語り、「そして多くのことを教え始めました。」と述べています。私たちは皆、救いを達成する方法として真実を求め、その渇きを癒したいと思っています。人種、言語、文化を超えた共通の絆、それはイエス・キリストを通じて救いを求めることです。

日本に来てから、私の心の安らぎを見つけ、精神的な目覚めを求める願望が始まりました。2007年に素晴らしい妻に出会う前に聞かれたならば、日本に永住するなんて考えたこともありませんでした。

私の個人的な旅を続けながら、箴言3:5-6を思い起こします。「心を尽くして主に信頼し、自分の理解に頼るな。すべての道で主を認めよ。そうすれば、主はあなたの道をまっす

ぐにされる。」神は私をここに導いてくださいました。彼の目的は不明ですが、私は彼の計画を信頼しています。妻と共にここ日本での新しい生活が新しい扉を開いてくれるでしょう。キリストに仕える方法を見つけ、YMCAに関わってよいことをすることで、人生にプラスの影響を与え、行動を変えることを楽しみにしています。

第二例会報告

古田 和彦

日時：8月8日(木) 17:00~18:15

場所：Zoomによる開催

出席者：秋元、大高、古賀、立花、古田

協議・確認・検討事項

1. 行事予定
 - ・資料により10月までの予定が示され、了承した。
2. 協議・報告事項
 - 1) 8月納涼例会(8月22日)の諸準備について
 - ・横浜・厚木、金沢八景の3クラブ合同納涼例会とする。
 - ・会場：カフェ ドラ プレス ブッフエスタイル
 - ・参加予定者は約40名。各クラブの参加者氏名の確認、ゲストの確認を行う。
 - ・出し物は「うたごえ広場」久保勝昭ワイズ中心で行う。
 - ・当日の役割 全体司会：佐藤厚木会長、開会点鐘：古田 横浜会長 閉会点鐘：高橋金沢八景会長、会計：大高、聖書・食前祈祷：押川、乾杯：鈴木 茂(つづき)
 - ・事前準備 プログラム作成：古田、立花 領収書：大高 備品搬入・搬出：古賀、古賀メネット
 - 2) 第10回横浜YMCA専門学校 日本語スピーチコンテスト

8月30日(金)10時~12時 於：横浜中央YMCA 9階チャペル オンラインで視聴可

当クラブ：審査委員長秋元ワイズ、審査員：古賀ワイズ 支援金：3万円

終えた後懇談の時を持つ：司会はワイズが務める→その後、YMCAスタッフに変更

ゲストとして村田製作所の声をかけたが欠席連絡あり。
- 3) 9月第1例会について

9月12日(木)18:30~20:00 於 横浜中央YMCA

卓話：山本俊正氏(日本YMCA同盟会長、前関西学院神学部教授)
- 4) ブリテン9月号編集計画については予定通り進めることとした。
- 5) 新クラブ(Yサービス大和クリエイティブクラブ) 支援メンバーとして、古賀・古田両ワイズを選任した。
- 6) 区から「サポートファンド献金」の依頼がある。時間をかけて検討することとした。

★ 強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う ★

第11回日本語スピーチコンテスト報告

古田 和彦

横浜 YMCA カレッジグループが主催し、横浜クラブと厚木クラブが共催する、「第11回日本語スピーチコンテスト」が8月30日(金)午前10時から行われた。会場は、横浜中央YMCA9階チャペルだが、学生たちは、教室でオンライン視聴とのことで、会場には、審査員、ワイズメン、発表者の親族など関係者、YJCサポーター、ゲストなどが集まった。

開会にあたり、当クラブ古田会長、佐竹 YMCA 総主事があいさつ。古田会長からは、言葉を学ぶことはその言葉が持っている文化を学ぶことであり、自国の文化を見直すことにもなると話され、佐竹総主事からは、横浜 YMCA 私たちの使命から、共に助け合っていく世界を築く人になれるよう励ましの言葉があった。続いて、審査員4名の紹介。当クラブの古賀健一郎ワイズ、厚木クラブ会長の佐藤節子ワイズ、神奈川県青年国際交流機構副会長の林恵子さん、YJC サポーターの渡辺伸二さんが紹介された。審査委員長の予定だった恵泉女学園大学人文学部教授の秋元美晴さん(当クラブ)は突然の病のため欠席となった。審査の方法の説明の後、早速スピーチの開始。

今回のスピーカーは、関内の横浜 YMCA 学院専門学校から5名、厚木の YMCA 健康福祉専門学校から5名の10人で、国籍(地域)別では、ミャンマー3名、スリランカ2名、中国2名、韓国、フィリピン、カナダ各1名だった。全員が1年ほどの短い滞日期間にもかかわらず、流暢な日本語で、人生観や日本での生活における喜びや課題について、それぞれの視点で述べてくれた。質問にも的確に答えており、日本語力がしっかりとしていることがよく見て取れた。スピーチの後、審査員を代表して古賀ワイズから、厳しい環境のなか挑戦された各スピーカーにねぎらいと励ましの言葉が贈られた。佐藤節子厚木クラブ会長の閉会挨拶で11時50分閉会した。

その後、12時過ぎから、スピーカーとワイズメンら会場参加者との交流の時間が持たれ、そこで、成績発表があった。優勝は、YMCA 健康福祉専門学校にスリランカからきている、コッテ アチャリゲ チャモディ ダヌッダラ ドダンデニヤさん、テーマ「一人暮らし」であった。家族を離れ、日本で一人暮らしをする中で、寂しさを乗り越え自信が出てきて人前でも話せるように成長したとの内容であった。賞状と副賞2万円が古田横浜クラブ会長から贈呈された。そのほか、参加者全員に賞状と副賞が贈呈され、和やかに懇談して午後1時閉会した。

当クラブの参加者：大高、古賀、佐竹、古田の4名。



参加者と審査員・関係者のみなさん



優勝者のコッテさんと古田会長



担当主事 立花 明美

8月前半は、健康教育部や語学事業などの夏季講習会が行われました。またアフタースクールでは学童富士山キャンプも実施され、多くの子供たちが参加しました。

8月 2日(金)～4日(日) AIDS文化フォーラム

8月 3日(土) 横浜 YMCA 学院専門学校国際情報ビジネス科オープンキャンパス

8月 5日(月)～9日(金) 横浜 YMCA 学院専門学校こどもクラブ

8月 5日(月) 神奈川県体育連盟 卓球大会

8月 7日(水) 小学生体験「人体の不思議」

8月 10日(土) プール清掃

8月 10日(日)～14日(水) 横浜中央 YMCA 全館休館日

8月 23日(金) International Summer Festival

8月 30日(金) 地域清掃

8月 31日(土) 横浜 YMCA 学院専門学校国際情報ビジネス科オープンキャンパス

★ 強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う ★

9月例会プログラム

日時：9月12日(木) 18:30～20:00

場所：中央YMCA・オンライン

司会 古賀健一郎

1. 開会点鐘および挨拶・・・・・・・・古田会長
2. ワイズソング・ワイズの信条・・・・全員
3. 今月の聖句・・・・・・・・古田ワイズ
4. ゲスト・ビジター紹介・・・・・・・・古田会長
5. 卓話
キリスト教の平和ー「剣を打ち直して鋤とし、槍を打ち直して鎌とする」。ー
山本俊正さん（日本YMCA同盟会長、前関西学院大
学教授）
6. ビジネス・報告・・・・・・・・古田会長
7. *Happy Birthday* 該当者なし
8. 閉会点鐘・・・・・・・・古田会長

例会報告：古賀ワイズ

<10月の行事予定>

日	曜日	時間	行事内容	場所
5	土	13:00	第103回Y-Y'協議会	中央Y
10	木	18:30	横浜クラブ第一例会	中央Y
19	土	10:00	インターナショナル チャリーティーラン	臨海パーク
24	木	17:00	横浜クラブ第二例会	Zoom
26	土	14:00	湘南・沖縄部 部大会	湘南とつか Y、Zoom

当ブリテン及び横浜ワイズメンズクラブに関するお問い合わせは、YMCA 立花明美にご連絡ください。

メール tachibana_akemi@yokohamaymca.org

電話 045-661-0080